

西田哲学トークイベント

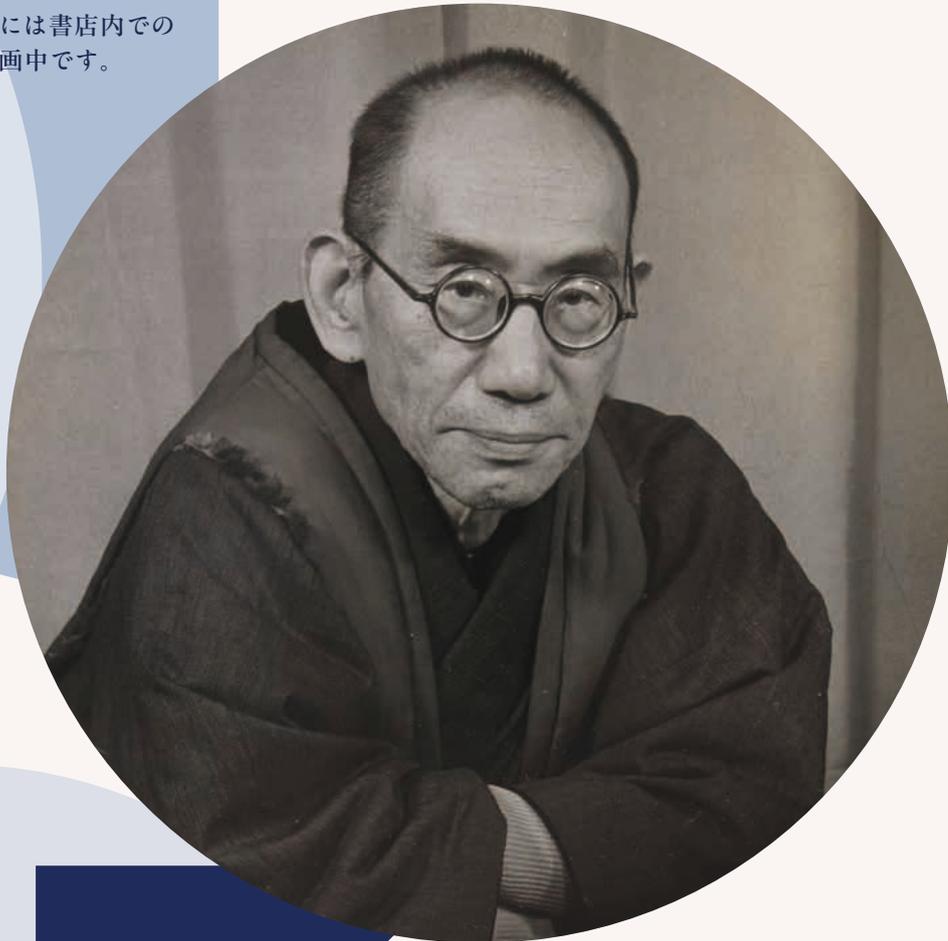
2025. **5/23** FRI.
19:00～
20:30

代官山蔦屋書店 3号館 2階

イベントスペース(定員65名)

オンライン配信のハイブリッド型

※イベント開催前後には書店内での
哲学書フェアも企画中です。



提供：石川県西田幾多郎記念哲学館

デジタル時代の身体を考える

— 西田哲学からの新たな視座 —

Kitaro Nishida

出演者

上原麻有子 (京都大学文学研究科教授)

長谷川祐子 (キュレーター、京都大学経営管理大学院客員教授、
前金沢21世紀美術館館長)

浅見 洋 (石川県西田幾多郎記念哲学館館長)

申込URL

<https://store.tsite.jp/daikanyama/event/humanities/46223-1150430316.html>



主催：代官山蔦屋書店、京都大学

後援：朝日新聞社、岩波書店、ナカニシヤ出版、

京都大学人と社会の未来研究院「立ち止まって、考える」



Institutional
Advancement and
Communications



京都大学

KYOTO UNIVERSITY

デジタル時代の身体を考える —西田哲学からの新たな視座—

京都大学は2024年6月、世界的にも著名な哲学者である西田幾多郎の思想と、西田哲学を基盤とした哲学者の集団、京都学派の研究を支援するため、基金を設立しました。基金設立から1年を迎えるにあたり、複雑な課題が山積する現代において、世界の変革期を生きた西田と京都学派の哲学の重要性をあらためて問い直すイベントを行います。「生きた哲学」である西田哲学を第一人者が読み解きながら、他分野の専門家との対話を通して思考を深め、現代を生き抜く知恵を見出していきます。

2025年は西田幾多郎没後80年にあたります。イベントを通じて西田哲学の普遍的価値を再発見し、現代社会が直面する諸問題に対する新たな視座を提供します。

プログラム

- ① オープニング ・ 主催者、寄付者によるご挨拶
- ② メインセッション ・ 上原教授による話題提供
禅の思想や創作活動、技術論、テクノロジーといったキーワードから西田哲学の「身体」の概念について話題提供をします。
・ ディスカッション
長谷川氏、浅見氏それぞれから「身体」をキーワードに話題提供をいただき三者によるディスカッションを行い、「これからの時代に求められる身体性」について考察を深めます。
- ③ クロージング ・ 質疑応答 事前にいただいた質問の中からいくつかを選び、登壇者に回答いただきます。
・ 閉会挨拶

出演者



上原 麻有子

京都大学大学院文学研究科教授。総合地球環境学研究所上廣環境日本学センター客員教授。Journal of Japanese Philosophy (ニューヨーク州立大学出版) 編集長。西田哲学会理事、同学会編集委員長 (2021-2024年)。日本学術会議連携会員。専門は、西田哲学、京都学派を中心とした近現代の日本哲学、翻訳哲学、女性哲学。フランス国立社会科学高等研究院博士 (哲学・翻訳学)。共著『近代人文学はいかに形成されたか 学知・翻訳・蔵書』勉誠出版、2019年。共著『危機の時代と田辺哲学』法政大学出版局、2022年。共著『問いとしての尊厳概念』法政大学出版局、2024年。



長谷川 祐子

キュレーター、美術評論家。京都大学経営管理大学院客員教授/前金沢21世紀美術館館長/総合地球環境学研究所客員教授/国際文化会館アートデザイン部門プログラムディレクター/犬島「家プロジェクト」アーティストティック・ディレクター。京都大学法学部卒業。東京藝術大学美術研究科修士課程修了。ブラジル、UAE、ロシア、トルコにおけるビエンナーレや、フランスで「ジャパノラマ：1970年以降の日本の現代アートの新しいヴィジョン」、「ジャポニスム 2018：深みへー日本の美意識を求めてー」などの国際展を企画。2010年よりエコロジーとアートの関係を調査し、キュレーション実践に反映する。2024年「森の芸術祭 晴れの国・岡山」にてアートディレクターを務める。著書に、『キュレーション 知と感性を揺さぶる力』集英社、『ジャパノラマー1970年以降の日本の現代アート』水声社、『新しいエコロジーとアート「まごつき期」としての人新世』以文社など。



浅見 洋

石川県西田幾多郎記念哲学館長、石川県立看護大学名誉教授、博士 (文学)。哲学、医療倫理、キリスト教思想。東京大学大学院教育学研究科連携教授、ライプチヒ大学歴史・芸術・オリエント学部東アジア研究所客員教授歴任。現在は「西田幾多郎未公開資料の研究資料化プロジェクト」、「エンドオブライフケアの哲学的アプローチ」に従事。成果としては石川県西田幾多郎記念哲学館編 (代表・浅見洋) 『西田幾多郎全集別巻』岩波書店、2020年、共編『エンドオブライフケア学：“自分らしく生きる”哲学』日本看護協会出版会、2024年。